

令和 8 年度 第 6 回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和 8 年 8 月 22 日（土）9 時 30 分～15 時 00 分
- 2 集合場所 青森市役所 駅前庁舎
- 3 出席者 子ども会議委員 8 名、ファシリテーター 1 名、事務局 2 名
- 4 活動内容 グループ活動

5 開催概要

終日、新青森駅及び新青森駅周辺で活動をしました。午前中は、新青森駅で働く職員へのインタビューや施設見学を行い、午後は新青森駅周辺の調査を行いました。Enjoy! young people☆グループの活動内容ですが、A-conomy グループも参加し、みんなで活動しました。

グループ活動



新青森駅に到着後、駅東口にあるベンチで事務局から当日スケジュールについて説明がありました。その後、インタビューに向けた打合せを行い、前回までの会議で作成した調査計画書や取材先について事前に調べた内容を確認しながら、今回のインタビューの目的をみんなで共有しました。また、インタビューをスムーズに進めるため、役割分担も行いました。



新青森駅の中にある、普段は入ることのない扉を通して会議室へ向かい、いよいよインタビュー本番です。東日本旅客鉄道株式会社の新青森駅長を含む 2 名の職員にご協力いただきました。最初は少し緊張した様子の子ども会議委員でしたが、駅長が気さくに声をかけてくださり、お互いに自己紹介をした後、インタビューを開始しました。一つ一つの質問に対して、実際の経験を交えたエピソードなどもお話しいただきました。インタビューの途中には、新幹線の発着時間に合わせて施設見学も行いました。実際に新幹線が発着する様子を見ながら、駅員がどのような業務を行っているのか、また安全のためにどのようなことに気を付けているのかなどについて説明をしていただきました。そのほかにも、待合スペースやポスターの掲示、スタンプラリー、観光で訪れた方への取組、接客で気を付けていることなどについて実際に見て歩きながら説明していただき、新青森駅が利用する人にとって安心・安全で快適な場所となるよう、さまざま



まな工夫がされていることを学びました。施設見学の後には会議室に戻り、インタビューの質問の続きを行いました。インタビュー中、駅長から「どうすればもっと良くなると思いますか？」と問いかけていただく場面もあり、子ども会議委員たちは自分たちの考えや意見を堂々と伝えることができました。また、仕事をする上で大切にしていることについてもお話いただき、青森の玄関口である新青森駅を利用する多くの人のために、さまざまなルールや役割のもとで職員の方々が仕事をしていることが分かりました。今回の活動を通して、普段利用している駅について知るだけでなく、実際に駅で働く方の視点から見た新青森駅や青森市について、学ぶことができました。

最後に感謝の気持ちを込めて、子ども会議で作成した「けんりはかせ」が描かれた缶バッジをプレゼントしました。その後、記念撮影を行い、子ども会議委員の代表者から挨拶をして、新青森駅職員へのインタビューを終了しました。



続いては、新青森駅の外に出て駅周辺の魅力を探しながら調査活動を行いました。現在の周辺地図と昔の地図を手にも、南口・東口・西口それぞれを歩き、駅前広場や駅前公園などを実際に見て回りました。歩きながら、気が付いたことや発見したものを地図にメモしていきました。途中、ファシリテーターからこの周辺に遺跡が埋まっていることを教えてもらいました。普段何気なく歩いている場所にも歴史があることを知りました。ほかにも、カラーのねぶたが描かれたマンホールや石碑など、これまで気付かなかったものを発見することができました。

最後に、青森駅の自由通路にある机といすを使って、活動中に書ききれなかったことを調査シートに記入し、アウガ前で解散となりました。気温が高く暑い中での活動となりましたが、最後までみんなで話し合いをしながら活動をすることができました。

